

DMR 臨床検査薬情報担当者
研修テキストⅡ

2023年版

臨床検査医学
臨床検査学

正誤表

※該当する用語が索引にある場合は、適宜読み替え等を行ってください。

I 臨床検査医学

掲載頁・項目	該当箇所	誤	正
p.25 (1臨床検査医学総論)	左欄上から1行目	ヒトの体内には <u>約3~10万種</u> のタンパク質があり,	ヒトの体内には <u>数万種</u> のタンパク質があり,
p.52 (3呼吸器系)	右欄下から9行目	<u>他項目遺伝子検査</u> などにより,	<u>多項目遺伝子検査</u> などにより,
p.52 (3呼吸器系)	左欄下から1行目	<u>巻末資料参考29</u>	<u>巻末資料参考28</u>
p.80 (6血液・造血器系)	左欄上から15行目	年間10万人あたり <u>約5人</u>	年間10万人あたり <u>約9人</u>
p.111 (9免疫と免疫異常)	左欄上から4行目	紡錘状に <u>種脹</u> する.	紡錘状に <u>腫脹</u> する.
p.124 (10感染症)	右欄上から13行目	CD4陽性 <u>Y細胞</u>	CD4陽性 <u>T細胞</u>
p.130 (10感染症)	図8 最上部	<u>パリシチニブ</u>	<u>パリシチニブ</u>
p.131 (10感染症)	左欄上から16行目	<u>パリシチニブ</u>	<u>パリシチニブ</u>

II 臨床検査学

掲載頁・項目	該当箇所	誤	正
p.160 (1臨床検査学総論)	左欄上から1行目	(1) <u>微生物学検査</u>	(1) 微生物学的検査
p.160 (1臨床検査学総論)	右欄上から2行目	(2) <u>血液学検査</u>	(2) 血液学的検査
p.199 (5免疫血清学検査)	右欄上から3行目	<u>クームス試験</u>	抗グロブリン試験
p.203 (5免疫血清学検査)	右欄上から7～10行目	従来より使われてきた免疫阻害法によるCK-MB活性測定は、トロポニンを上回る臨床的意義がないことに加え、 <u>異常CKの影響を受けるという理由で保険収載から外れた。</u>	従来より使われてきた免疫阻害法によるCK-MB活性測定は、トロポニンを上回る臨床的意義がないことに加え、 異常CKの影響を受けやすいとされている。
p.208 (5免疫血清学検査)	右欄下から3行目	<u>クームス試験</u> (抗赤血球自己抗体の検出)	抗グロブリン試験 (抗赤血球自己抗体の検出)
p.224 (7遺伝子関連検査)	左欄下から5行目	<u>保因者検査</u>	保菌者検査
p.236 (8輸血検査)	右欄下から6行目	そして <u>交差適合試験</u> は、	そして 不規則抗体と 交差適合試験は、
p.239 (8輸血検査)	表6 表中項目「DCE表記」の上から9行目	<u>DCE/dCE</u>	DCE/DCE
p.239 (8輸血検査)	表6 表中項目「Rh-hr表記」の上から6行目	<u>R₁R_x</u>	R₁R₂
p.239 (8輸血検査)	表6 表中項目「Rh-hr表記」の上から8行目	<u>R₂R_x</u>	R₂R₂
p.239 (8輸血検査)	表6 表中項目「Rh-hr表記」の上から9行目	<u>R_xR_x</u>	R₂R₂
p.239 (8輸血検査)	右欄上から3, 4行目	アカゲザル (<u>Rhsus</u> monkey)	アカゲザル (Rhesus monkey)

掲載頁・項目	該当箇所	誤	正
p.247 (8輸血検査)	右欄上から8～13行目	全自動輸血検査装置の普及は、およそ1,000台以上が設置されていると考えられている。全国で300床以上の医療機関での利用はおよそ1,500施設であり、 56.7% の普及率である。また、100床以上の医療機関で考えると、およそ5,400施設あるので、 15.7% の普及率になる。	全自動輸血検査装置の普及は、およそ1,000台以上が設置されていると考えられている。全国で300床以上の医療機関での利用はおよそ1,500施設であり、 66.7% の普及率である。また、100床以上の医療機関で考えると、およそ5,400施設あるので、 18.5% の普及率になる。
p.250 (9病理検査)	表1 上から13, 14行目	<u>3. 電子顕微鏡検査 (透過型, 走査型)</u> <u>4. 病理解剖</u>	3. 病理解剖 ※特殊な検査法として、電子顕微鏡検査、術中迅速検査など。
p.252 (9病理検査)	キーワード	病理組織標本作製, 固定, パラフィン包埋, 薄切, 染色, 封入, 自動包埋装置, ミクロトーム, LBC, 温固定, <u>グルタルアルデヒド, オスミウム, ウルトラミクロトーム, ダイヤモンドナイフ, 超薄切片, 金属コーティング,</u> 解剖資格, 死体解剖保存法, ロキタンスキー法	病理組織標本作製, 固定, パラフィン包埋, 薄切, 染色, 封入, 自動包埋装置, ミクロトーム, LBC, 温固定, 解剖資格, 死体解剖保存法, ロキタンスキー法